

講義科目 : 財政学	単位数 : 4
担当 : 大畑 智史	学習形態 : 選択科目

講義の内容・方法および到達目標

現在、日本をみても、国や地方自治体は、災害対応、教育、などの面において重要な存在です。本講義では、主として、そうした主体は現在どのような形で運営されているのか、その状況はどうか、などの点を、とりわけ国家の場合（日本）に焦点をあてて説明します。本講義は、そうしたことにより、受講生が、我々の日常生活に身近な国家財政について専門的に考察できることを目標とします。

授業計画

1	オリエンテーション：財政とは	16	法人課税：理論
2	財政学の歴史：ワグナーまで	17	法人課税：制度
3	財政学の歴史：現代まで	18	中間テスト：日本財政を考える
4	財政の範囲	19	消費課税：理論
5	財政の機能：資源配分、所得再分配	20	消費課税：制度
6	財政の機能：経済安定化	21	資産課税：理論
7	公共財：定義	22	資産課税：制度
8	公共財：政治的側面から	23	国際課税：理論
9	予算：予算原則	24	国際課税：制度
10	予算：予算の内容	25	公債：理論
11	予算：特別会計、決算、他	26	公債：制度
12	租税の基礎：租税の基礎用語	27	国と地方との財政関係：特定補助金
13	租税の基礎：租税原則	28	国と地方との財政関係：一般補助金
14	個人所得課税：理論	29	社会保障：理論
15	個人所得課税：制度	30	社会保障：制度

教材・テキスト・参考文献等

テキストは指定しませんが、下記の文献を参考文献として挙げておきます。
 本間正明、岩本康志『財政論』培風館、2019年
 植田和弘、諸富徹 編『テキストブック 現代財政学』有斐閣、2016年
 『図説 日本の財政』東洋経済新報社（各年度版）
 『図説 日本の税制』財経詳報社（各年度版）

成績評価方法

中間テスト：20%
 講義内容についての感想（複数回）：20%
 定期試験：60%

その他

・地方財政論、金融論、などの科目も履修することをお勧めします。